



小南国広議報会

令和８年11月 第142号

















今月の表紙

町のスポーツトーナメント「MOST」の様子です。
保育園児からご年配の方まで参加者のみなさんが楽しくスポーツをされていました。

令和８年　第３回定例会

９月定例会が９月８日に召集され、９月 11 日までの会期で開かれ、令和７年度一般会計歳入歳出決算などの認定案件が６件、令和７年度南小国町健全化比率及び資金不足比率の報告が１件、令和８年度一般会計補正予算などの予算案件が７件、人事案件（固定資産評価委員の任命）が１件、それぞれ原案のとおり可決、承認、認定されました。

●令和７年度決算概要

一般会計では歳入から歳出を差し引くと６億９２１万円で、翌年度への繰越財源１億８５６万円を差し引いた５億６５万円が黒字となり、翌年度に繰り越されました。

一般会計決算

歳　入	歳　出	翌年度繰越財源	実質収支額
68億9927万円	62億9006万円	1億856万円	5億65万円

特別会計決算

特別会計名	歳　入	歳　出	実質収支額
国民健康保険特別会計	4億8894万円	4億8142万円	752万円
後期高齢者医療特別会計	8709万円	8655万円	54万円
介護保険特別会計	7億1071万円	6億8255万円	2816万円
合　計	12億8674万円	12億5052万円	3622万円

公営企業会計決算

簡易水道事業会計	収益的収入	1億7625万円	収益的支出	1億4988万円
	資本的収入	1億3984万円	資本的支出	1億3890万円
下水道事業会計	収益的収入	2億4611万円	収益的支出	2億2971万円
	資本的収入	5138万円	資本的支出	1億1120万円

※表示単位未満四捨五入のため、合計や収支額が一致しない場合があります。

町債（借入金）残高

区　分	７年度末残高
公営住宅建設事業債	1402万円
災害復旧事業債	3億　295万円
教育・福祉施設等整備事業債	3712万円
一般単独事業債	2億　470万円
過疎対策事業債	15億1752万円
臨時財政対策債	8億3616万円
一般会計 その他	1264万円
公営企業会計（企業債）	14億6220万円
合　計	43億8731万円

基金残高

基　金　名	７年度末残高
財政調整基金	18億7478万円
ふるさと納税基金	19億6925万円
きよらの郷づくり基金	1億5324万円
地域福祉基金	1億2389万円
CATV 放送設備等整備基金	7450万円
一般会計その他基金	1億1709万円
特別会計基金合計	7267万円
合　計	43億8542万円

令和７年度に実施された各課局の主な事業

【総務課】 消防団高視認性活動服 購入事業 **616 万円**	**【保育課】** 市原保育園間仕切り他 改修工事業 **583 万円**	**【福祉課】** 物価高騰対応重点支援 臨時給付金 **1980 万円**
【税務課】 地籍調査委託料 **3836 万円** **（R7 より繰越含む）**	**【町民課】** 予防接種委託料 **1370 万円**	**【教育委員会事務局】** 大阪万博研修補助金 **1695 万円**
【まちづくり課】 くらし応援券 **5115 万円** **（R8 へ繰越 2600 万円）**	**【建設課】** 市原地区新規水源整備事業 **1 億 5705 万円** **（R8 へ繰越 1 億 7693 万円）**	**【農林課】** 最適土地利用総合対策事業 **1079 万円**

監査意見書（抜粋）

代表監査委員　石橋　正寿
議選監査委員　井野　和哉

① 財政健全化審査については、実質赤字比率・連結実質赤字比率・将来負担比率は「０」、実質公債費比率も「7.1％」であり、本町の財政状況は健全と判断できる。財政力指数・経常収支比率はともに前年度と同ポイント、実質公債費比率は昨年度から減少しているが、経常収支比率は依然高い状態が続いている。昨年度 14.8 億円超の実績となったふるさと納税も国の経費ルールや地場産品基準が厳格化されることに伴う減収も懸念されるところである。引き続き財務状況を分析し、抑制に向けた健全かつ適正な財政管理を行っていただきたい。

② 町税や保険料・使用料及び負担金等の徴収については、全体的に滞納解消傾向にある。これは、担当職員の日頃の努力は基より、担当課・局間の連携がうまく図られているものと評価する。悪質な滞納者については引き続き法的措置をとるなど、徴収業務の更なる強化と担当課・局間の連携に期待する。一方でコンビニ・スマホ納付の導入により納付者の利便性が格段に向上したと思われる。町の費用負担も大きいが、納付の選択肢が増えることは住民サービスの向上にもつながっていることから、今後も新たな納付方法を模索していただきたい。

③ 例年、歳出に多額の不用額が発生している科目が見受けられる。限られた財源を有効活用するためにも、履行が困難となった事業や金額が確定した事業など早めの対応が可能なものは、年度途中で減額補正するなど適切な処理を望む。

④ 伝票監査においては、請求書に記載される業務内容や購入内容が簡略化されたものや決裁印の漏れが見受けられた。数量や算出根拠など、第三者が見ても分かるよう明細等の記載をお願いするとともに、伝票に貼付する請求書については同一方向になることをお願いする。また決裁者によるチェック体制を徹底し、事務処理ミスの未然防止に努めてもらいたい。

⑤ 高齢化や人口減少、インフラ施設の老朽化、災害の激甚化など町が抱える問題は多岐にわたり、行政の役割もますます高度化･複雑化することが予想される。また､昨今の原油価格や物価の高騰、さらに地震や豪雨による災害が地域産業に与える影響は大きい。国の物価対策や財政支援の動向を注視し、限られた財源を有効に活用しながら、町民が安心して暮らせる南小国町になることを期待する。

●令和７年度決算の主な審議

◆一般会計歳入歳出決算書／◆特別会計歳入歳出決算書（３会計）／◆公営企業会計決算書（２会計）

○ふるさと納税業務等の株式会社 SMO への業務委託について

▶佐藤議員　㈱ SMO 南小国には町から 8500 万円の資本金を出資し、さらに 7000 万円の社債を引き受けている実質的な第３セクターである。公金を投入している以上、地方自治法に基づく行政監査を実施すべきではないか。

答　これまで行政監査は入っていなかったが、公金取扱いや経営の透明性の観点から必要性があるならば、法人役員等の了承を得たうえで、代表監査委員・議員選出監査委員による行政監査に入っていただく方向で検討する。

○「小国高校地域みらい留学事業補助金」「小国高校寄宿舎運営負担金」について

▶森永議員　県外からの生徒を受け入れる際、生活拠点が大きな問題となる。現在は平日のみの対応と思われるが、週末の過ごし方や長期休暇中の宿泊・食事等についてどのように検討しているか。

答　事業推進上の大きな課題の一つと認識している。現在の寮自体も古く、空き部屋に限りがある。小国町・高校を含めて協議し、現在の寮以外の形態も含めて生徒の居住・受入れ態勢整備について検討を進めている段階である。

○小中学校タブレット端末更新による旧端末 300 台の今後について

▶北里議員　旧タブレット端末を自主防災組織・消防団・防災士に利活用すれば経費削減につながるのでは。再利用予定の 50 台以外を売却する前に再度検討できないか。

答　当初は旧タブレット端末の防災利用についても含め検討したが、Wi-Fi 環境下でしか利用できないことや保守切れかつ不具合が出る可能性やその頻度が高いこと等を総合的に判断し、売却する方針としていたが、再度、教育委員会と検討する。

○中山間地域等直接支払交付金について

▶穴井秀房議員　事務手続きの煩雑さによる不参加集落の増加が懸念される。役場でのシステム化や集落支援員の配置、事務委託等の支援策は講じられないか。

答　第５期から第６期への更新時に６協定が減少した。国からの交付金要件を満たすことが厳しく、農家の事務負担は相当大きいことに起因していると感じている。集落支援員の活用や民間業者への事務代行委託など費用面を含めて検討している。国や九州農政局とも連携を行い、制度を最大限有効活用できるよう支援策の具体化を模索している。

●令和８年度９月補正予算

主な補正予算（一般会計）

（万円）

部分林地元交付金	608
CATV 修繕料	842
町道新設改良測量設計委託	4000
観光危機管理計画策定業務委託料	337
東市原教職員住宅解体工事設計管理委託料、解体工事請負費	△2148
小・中学校屋内運動場空調設備設置工事設計業務委託料	990

令和８年度９月補正予算

＊万円未満四捨五入

	補正額	補正後予算額
一般会計（第5号）	2億1865万円	68億6078万円
一般会計（第6号）	2056万円	68億8134万円
国保特別会計（第2号）	252万円	4億6890万円
介護保険特別会計（第2号）	2904万円	7億4262万円
後期高齢特別会計（第2号）	54万円	9885万円
簡易水道事業会計（第2号）		
収益的収入	193万円	1億6057万円
収益的支出	85万円	1億6554万円
資本的収入	4400万円	3億 303万円
資本的支出	7528万円	3億8769万円
下水道事業会計（第3号）		
収益的収入	670万円	2億3473万円
収益的支出	221万円	2億4106万円
資本的支出	63万円	1億1645万円

●一般会計補正予算（第５号）主な審議

○妊産婦に対する遠方の分娩取扱施設等への交通費等支援事業補助金について

▶井野議員　補助対象はハイリスク妊婦で県内の医療機関ということだが、日田市など県外の施設に通院している妊婦に対して、町独自で補助するなどできないか。

答　まずは県要綱に沿った形で事業を実施し、運用の中でハイリスク以外の妊婦への支援も今後検討していきたい。県指定医療機関での特定不妊治療受診者も一部対象になる。



昭和48年に建設された中原小学校体育館

○森林環境贈与税の機械等導入補助金について

▶穴井則之議員　利用件数とその実績は。チェーンソーや防護服等の機械等購入後に制度を知る町民が多いため、事前周知を工夫していただきたい。

答　申請は19件。購入前の事前申請について集落説明会や広報等にて周知徹底する。

○小学校屋内運動場空調設備設置工事設計業務委託料について

▶下城議員　中原小学校が含まれていない理由は。元気プラザでは、今後大規模な災害時に収容できない。中原小学校への具体的配慮が示されなければ賛成できない。

答　①指定避難所に指定されていないため国交付金の対象外、②老朽化（築53年）している施設への大規模公金投入に対する妥当性、③学校以外での社会体育等による体育館利用がないこと、による。熱中症対策として大型移動式スポットクーラーなどの代替案を含め新年度に向けて整備を進めていく。

９月定例会（９月８日～11日）　採択結果

○…賛成、×…反対　※賛否の分かれた案件のみ掲載。

議案番号	事　件　名			採決結果	下城	北里	佐藤	森永	井野	後藤	穴井秀	穴井則
議案第69号	令和８年度南小国町一般会計補正予算書（第５号）			可決	○	○	×	○	○	○	○	○
	反対討論	佐藤議員	note活用情報発信事業業務委託料100万円は、担当課で再度精査・検討の上、新年度当初予算に計上するか、広報営業活動費の中で整理すべきと考える。また、小学校屋内運動場の空調設備については、地域住民の社会体育活用にも大きく貢献するものであるから他の小学校同様に空調設備を設置すべきであり、中原小学校だけに予算が計上されていないのは納得できない。									
	賛成討論	井野議員	学校体育館への空調設備整備については、学校教育のみならず社会体育での利用や指定避難所としての機能確保の観点からも極めて重要であり、早期の整備が求められている。今後の全町的な整備拡大につながることを強く期待し、本案に賛成する。									
	賛成討論	森永議員	小・中学校体育館への空調設置に関して、現在の異常気象が続くなか、極めて重要な取り組みである。中原小学校への対応についても検討するとの答弁をいただいているので、前向きな検討を期待し、本案に賛成する。									

●発議第１号

「令和８年産米の価格下落および生産者の営農継続危機に関する緊急要望書」	可決

●人　事

固定資産評価審査委員会委員の選任	大字満願寺　嶋﨑俊秀 氏	同意

Q 地域おこし協力隊や集落支援員を活用した地域づくり



佐藤　毅　議員

A 集落の衰退を止め、維持・活性化できる仕組みづくりを考えていく

人口減少・高齢化が進む地域の現状を見て、地域維持、活性化に取り組む必要がある。

問　地域、集落の維持・活性化となる地域協力活動に、協力隊・支援員を採用して取り組んではどうか？

町長　新たな人材や制度を活用して、住民主体の活動や支援等を含め、充実した形での地域維持・活性化を実現できるよう取り組む。

問　空き家対応・対策に協力隊を採用して、課題解決に繋げては？

まちづくり課長　町内の現状がわかる方を含め、複数人で取り組む形を検討していく。

問　介護予防や地域福祉推進に向けて、集落支援員を採用しては？

福祉課長　役場と連携する形で、地域の目配り役となる集落支援員の配置は重要。採用に向けて検討する。

問　移動販売にも集落支援員を採用しては？

農林課長　移動販売は本年度で終了予定。今後は注文販売等、町民生活に支障がないよう協議していく。

Q 農協跡地利活用、今後の流れはどうなる？

A 令和13年度のオープン、共用開始に向けて、準備を進める

町民が気になっている農協跡地。建設に向けた具体的なスケジュール等を示す必要がある。

問　今後のスケジュールは？

町長　令和8年度で基本計画策定段階。令和9・10年度で設計及び選定段階。令和11・12年度で建設工事段階。令和13年度オープン共用開始予定。様々な不安定要素があり、時期が前後、変更となることがある。

問　建設費用はどれくらいを想定している？

総務課長　他自治体を参考に計算すれば現段階で、建物の延床面積3800㎡で、15億円以上を見込んでいる。

問　物価や資材高騰で建設費が膨らんだ場合はどうする？

町長　国や県の補助金を最大限活用しながら、町の財政状況を見極め、判断する。場合によっては、最低限必要なものだけにする可能性もある。

問　災害時の緊急指定避難所としての機能を持たせるのか？

総務課長　防災拠点機能を果たす役割を有する。



穴井　則之　議員

Q 恒久的有害鳥獣対策を

A 対策は重要であり事業の継続・充実を図りたい

問　令和7年度に町内3地区に金網柵及び防草シート等材料支給の事業を行っていただいたところである。

　この事業は、農作業の省力化につながり、作物の被害防止や農地の維持等を考慮したとき、持続可能な農業施策としてとても有効な事業と思えるので今後も前向きに推し進めていただきたい。

町長　有害鳥獣対策は農作物の被害を防ぐ事だけが目的ではなく、農業者の営農意欲を維持し耕作放棄地の発生を抑制し、地域の農地を将来にわたって守っていく重要な施策であり今後も効果を検証しながら地域の要望に応えられるよう、事業の継続、充実について検討していく。

問　本年度2地区の募集であったがもっと増やす事はできないか。

農林課長　実施地区を増やしていく事は必要なことと考えている。本年度は、予算と業務委託を2地区を想定しているため来年度以降はもっと増やせるよう予算要求を上げていきたい。



防草シート



金網柵



後藤　六男　議員

Q 熊本地震から１０年、教訓は生かされているか

A 災害協定は民間企業とパートナーシップ協定を結ぶ仕組みを考える

問　南小国町の災害備蓄品数は大丈夫か、又、災害関連死の危険が高い車中泊をしなくてよい対策として減反農地の活用はどうか。

町長　段ボールベット等、段ボール製品は安価で設置が簡単であるという利点があるが長期保管は湿気に弱く、いざ使う時、強度が弱くなっている。自治体ごとにいろいろな資材をストックするのは限度があるので国や県とかが民間企業としっかりとパートナーシップ協定を結んで被災した自治体にその民間企業から送られる仕組みができないかとお願いしている。

　又、車中泊対策は町や自主防災組織が開設する避難所に避難していただくことで避難者数の把握や物資等の配布もスムーズになると考える。

農林課長　農地にテントを設置するのは応急仮設住宅のほうが建築が可能と思う。



出典：特定非営利活動法人　土砂災害防止広報センター HP より（https://www.sabopc.or.jp/library/sediment_disaster/）

Q 役場職員の兼業導入について

A 働きやすい職場づくりに努める



穴井　秀房　議員

Q 令和８年熊本地震をうけて町の災害対策を問う

A 大規模災害に対応するため防災機能の充実を図っていく

今回の熊本地震をうけ、以前より質問してきた４項目について再度確認したい。

問　庁舎電源は町有の発電機と、災害発生時にレンタルする発電機で対応との事だが現在の発電機で何時間稼働か？また災害発生時にレンタル可能か、ソーラー発電を再度検討すべきでは？

町長　庁舎屋根に設置するソーラーパネルでは財政負担が大きいので現実的ではない。現燃料タンクでは15～20時間の電源が確保できる、今後、増設すれば72時間以上の電源が賄えるので対応を考えたい。

問　水道　大型ポリタンクでの対応との事であるが道路等の被災も考えられる、運用計画はどうなっているか？

町長　被災状況により柔軟な対応を行う

問　現在の光ケーブルは破損が考えられる、町民への連絡体制はどう考える？

町長　大規模災害発生時、光ケーブル網の被災は避けられない、関係機関と緊密に連携し、迅速な復旧体制の強化や予防策を講じ通信障害を軽減したい。

問　モバイル建築は本町の木材を生かし、災害時の仮設用住宅の備蓄として検討してきた、今回の熊本地震でも活用出来たはずだがいつも後手に回っている。早急に対応を実行すべきでは？

町長　モバイル建築を災害時の仮設住宅ばかりでなく、本町の重要な地域資源である小国杉を活用した建築物として地域の建築技術や産業の発展につなげたい。

問　兼業で職員のスキルの向上を図ることに異存はないが、兼業勤務可能な課と、超過業務で不可能な課が見受けられるが不公平感がないような体制を作るべきでは？

町長　職員が平等にワークライフバランスを実現できる、働きやすい職場づくりに務める。



森永　一美　議員

Q 農産物の「もったいない」を減らす取り組みを

A 地元野菜を少しでもロス削減できるよう前向きに考えたい

世界で生産される食料の3分の1が廃棄され、国内でも食品ロスが深刻な課題となる中、本町でも農産物が規格外等で廃棄される「もったいない」事態が発生している。農産物をムダにせず有効活用できる仕組みが必要。

問　農産物の廃棄防止や食品ロス削減に向けた取り組みと今後の展望は？

町長　啓発や寄附支援を実施中。今後も地元野菜のロス削減を前向きに考えたい。

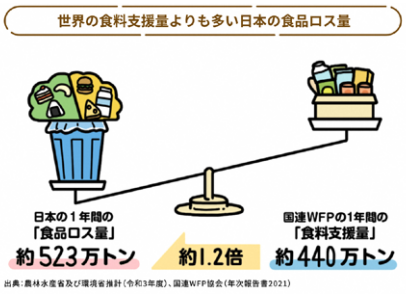
町民課長　物産館やケーブルテレビ、健康相談時に野菜レシピや地元野菜の魅力を紹介している。

問　調理を通し交流できる場所が必要では？

町長　ＪＡ跡地複合施設の設計図に調理スペースを入れている。有事の炊き出し利用も考える。

問　農産物の一次加工や、山菜をビジネス化し価値向上できないか？高齢者等の活躍や収入増にも繋がるのでは？

農林課長　廃棄量の実態把握を進めたい。山菜は出荷者協議会等と協議を検討する。



出典：農林水産省ホームページ
「aff（あふ）2023 年 10 月号」より抜粋



野菜レシピをケーブルテレビで紹介する役場の管理栄養士さんと食生活改善推進委員さんたち



井野　和哉　議員

Q 町管理河川の災害復旧、維持をどうしていく

A 災害原因を踏まえた復旧・改修と、河川の維持管理を確保していく

問　今、町が管理する河川はどのくらいあるか。

建設課長　河川・砂防河川合計56本、総延長１８０㎞の河川がある。

問　今年の7月豪雨で、令和2年の水害があった小田川上流部が再び被害を受けたが、令和2年の復旧工事、改修工事の総工費はいくらになるか。

建設課長　町の工事とは別に県が行った工事もあるが、町の工事分だけで、7ヶ所、3億８８２３万円になる。

問　復旧工事の基本は、原型復旧が基本であるが、災害の状況を考えると、改修工事と併せて行う必要があるのでは。

建設課長　災害の場合は、宅地、家屋がある箇所が優先される。また、原型復旧で収まらないものに対して補助事業もあるが、採択基準が厳しく、町内では原型復旧事業での工事が大半である。

Q 学校給食センターの建替え、どうしていく

A 近隣自治体との連携、広域化の可能性を含め、検討する

問　令和7年度に、候補地を4ヶ所選定して、今年度測量設計を行う予定で、当初予算に計上していたと思うが、現状はどうなっているか。

教育委員会事務局長　昨年度の詳細調査において、1か所に絞って発注する予定であったが、財政負担が大きいことから、近隣自治体とも協議をしながら検討しているところである。

問　6年前にも給食センターの建替えについての質問をさせていただいた。

今回は、あえて町に給食センターを造らない前提で話をしたい。

現在、近隣の小国町と産山村の給食センターは建設から10年ほどである。このあたりの自治体と連携はできないか。

町長　国からの補助等が期待できない中、今後の財政状況などを鑑みると、近隣自治体にお願いせざるを得ないと思っている。

経済建設常任委員会　　穴井秀房

令和８年付託　議案第 38 号　南小国町農業構造改善事業負担金徴収条例の制定について

令和８年６月 11 日付けで付託された上記の件に付きまして慎重に協議した結果、執行部より提案されました上記事業中、農道整備、用排水整備に対する負担金額を事業費の 5%とする案を、同事業に要する事業費（委託費と工事請負費）の 3%とすることに修正したうえで、9 月本会議において可決されましたので報告します。

総務文教常任委員会　　穴井則之

９月定例議会において付託された南小国町奨学資金貸与条例の全部改正について、慎重に審議した結果、原案通り可決すべきものと決定しました。

委員会としては物価高騰を考慮した場合、貸付上限額を上げること、また人材不足となっている保育士や介護福祉士、社会福祉士などの資格職を有した貸与者などが就職で町に戻って来たとき、返済の免除や減額または補助金等、今後返済に向けた町独自の新たな取り組みについて、検討していただくよう要望しました。

阿蘇広域行政事務組合議会

阿蘇広域行政事務組合議会議員　北里桂一

令和８年 10 月 16 日に定例会が開催され、令和７年度決算が承認されました。南小国町の負担金の内訳は以下のとおりです。

一般管理費	650 万円
介護保険対策費	148 万円
障害支援対策費	48 万円
火葬施設事務費	31 万円
北部火葬施設費	979 万円
環境総務費	110 万円
清掃施設運営費	6873 万円
最終処分場運営費	321 万円
北部清掃費	1617 万円
北部し尿処理費	3307 万円
消防費	1 億 2090 万円
合　計	2 億 6174 万円

小国郷公立病院組合議会

公立病院組合議会議員　佐藤　毅

(1)　令和７年度決算

病院		老人保健施設	
病院収益	13億6661万円	施設収益	2億8759万円
病院費用	13億9793万円	施設費用	3億2849万円
診療所		訪問看護	
診療所収益	4785万円	訪問看護収益	2485万円
診療所費用	5633万円	訪問看護費用	2342万円

(2)　新病院建設に向けて

※予定地選定にあたり、①併設老健に隣接する、②比較的災害に強い、③アクセスしやすい、④広い道路に面している、⑤駐車台数の確保等の観点から、小国町宮原のケヤキ広場周辺を候補地に選定。

※建物は、延床面積 4,500㎡の２階建て（1 階外来診療エリア・管理部門、2 階病棟エリア）を想定。

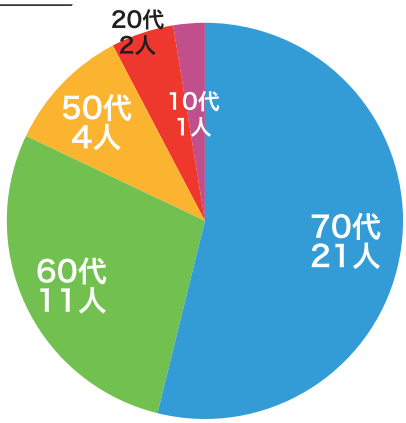
令和８年　議会日誌

8月	10	議会広報調査対策特別委員会（ケーブルテレビ撮影）
	18・24	全員協議会
	28	一般国道442号道路整備促進期成会総会
9月	1	議会運営委員会
	5	消防団通常点検
	8～11	第3回定例会
	11	議会広報調査対策特別委員会
	12	JA阿蘇小国郷畜産共進会
	17	戦没者追悼式
	18	熊日金婚夫婦表彰式
	26	阿蘇・瀬の本高原マラソン大会
	29	第2回臨時会
10月	4	「きよらの郷」防犯少年柔道大会
	8	県町村議会議員研修会
	14	議会広報調査対策特別委員会
	16	きよら祭り
	18	熊本県人権教育研究大会
	20	阿蘇市町村議会議員研修会
	21	第3回臨時会
	21	議会広報調査対策特別委員会
	22	経済建設常任委員会
	31	菊池郡・阿蘇郡町村議会（菊阿会）議員研修会

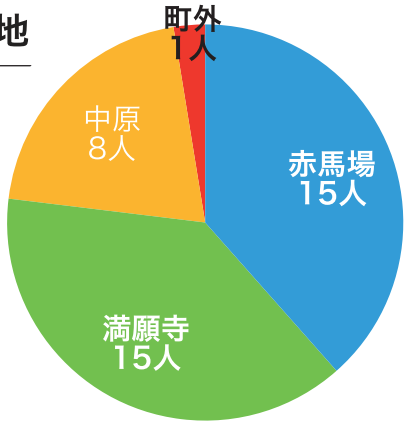
読者アンケート結果報告

8月5日～9月30日までに行いました議会広報の読者アンケートでは、39通の回答をいただきました。ご意見、ご感想、アイディア等をたくさんお寄せいただき、ありがとうございました。
皆さまのお声は今後の議会広報作りに活用させていただきますと共に、議員全員に、必要なものは担当課にも共有させていただきました。アンケート結果とお寄せいただいたお声を一部ご紹介します。

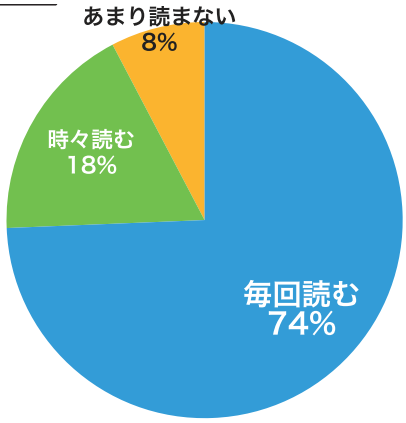
回答者の年齢



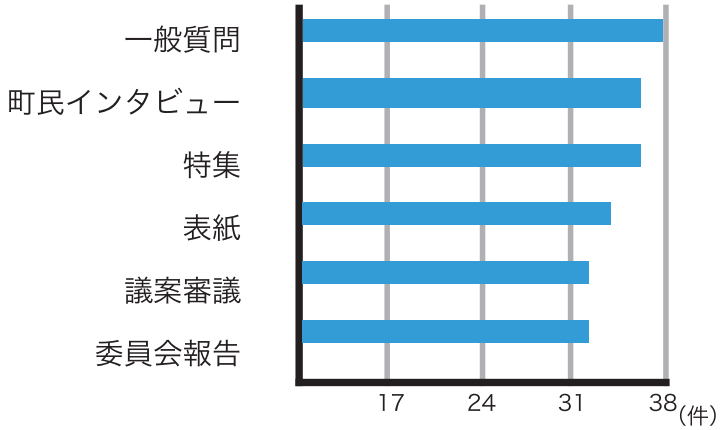
回答者の居住地



読む頻度



読んでいるコーナー



今後載せて欲しいこと・特集へのアイディア

学校の紹介や子ども達への町の取り組み	JA跡地の利用法	議員の活動や思いの紹介	議会毎・議員毎の一般質問の回数
自治会長や組長の活動内容や現状報告	長期的な事業計画や予算執行状況の解説	後期高齢者や介護保険の状況	観光費や宿泊税

議会広報へのご意見・ご感想

議員になりたかった理由や、これから何をしたいかを載せて欲しい。

議員の質問の中で、なぜその問をしているか具体的に書かれていない時がある。何が問題なのか、どう考えているかも記載すると分かりやすい。

全体的には非常によく広報されており、現状課題を知ることができ役立っている。

特集記事「あれはどげなった？陳情・請願とその結果」はこれこそ議会と住民をつなぐ意義あるもの。

少し難しくて、字が多くて読みにくい。

一般質問のその後がどうなっているか、どう活かされているか、詳しく知りたい。

町民インタビューが面白い。

議会広報誌は楽しみにしている。

誌面上の一般質問に関して、問の目的を明確に簡潔に掲載して欲しい。
どんな効果を期待して質問するのか分かると、各議員が何を見ているのか把握できると思う。

議会の質疑応答の全部を掲載するのではなく、それ以外の内容がもっと欲しい。

すべての委員会、議会のインターネット化をし、いつでも誰でもチェックできるシステムの構築。

過去の陳情請願の追跡や、定例会の審議内容が細かく書かれているのでわかりやすい。

内容や形式が更新されていって、読みやすくなっている。

議員によっては活動内容が見えない人もいる。
候補者が少ないのならば議員数を減らしても良いのでは？

議員日記のような１日または数日を追ったエッセーのような物が載せられると面白そう。

議会広報 南小国　令和8年11月　第142号



髙村（たかむら） 秀明（ひであき）さん

米好きが集う〈米フェス〉は今年12年目！一粒に込める、里山を守り継ぐ想い。

プロフィール
波居原在住。2016年より米フェス実行委員長を務める。
年に1度、県内外から約150名が訪れる米フェスを成功させるため、出店農家だけでなく地域全体と連携し、波居原が一丸となったおもてなしを牽引している。



農家さんとお客さんとが直接会話できるのも米フェスの良さ！
完全予約制で、米好きのお客さんが県内外から来られる

…農業を継がれた経緯を教えてください。

県内外で測量や飲食の仕事をしていましたが、子どもが保育園に入園するタイミングで帰郷して、家の農業を継ぎました。今まで農業を手伝ったことすらなかったのですが、地域の方々に教えていただき、今年で就農して20年を迎えます。

…米フェスについて改めて教えてください。

南小国の新米を食べ比べできるイベントです。今年で12年目（11回目）となり、毎年10軒前後の米農家さんが出店しています。米の品種だけでなく栽培方法なども違うので、食べ比べを楽しめます。農家さんそれぞれのこだわりを直接お客さんに伝えられ、「おいしかった！」の声をいただけるのは本当に嬉しいです。また来年もおいしい米を作ろうと思えます。

リピーターさんが多いので、毎年何かしら新しいことを企てています。昨年は、小国高校吹奏楽部の生演奏もあり、田の原から羊も来てくれました。

…米フェスの今後の展望を教えてください。

新規のお客さんを増やすとともに、町内の旅館さんとの繋がりも深めていきたいです。実際に味わってもらい、適正な価格で取引ができれば、観光客に地元のおいしい物を味わっていただけると同時に、農家の経営安定にも繋がると考えています。

…これからの農業についてメッセージをお願いします。

手入れされた田んぼが生み出す里山の風景は、地域の農家さん達が守り続けています。しかし、農業の担い手不足は深刻です。担い手がおらず耕作放棄地が増えれば、この景色も失われてしまいます。

例えば「農事組合法人はいわら」のような組織を大字ごとに作り、新規就農者を雇用し、法人が担い手となれればと考えています。雇用された方には「法人の仕事と自分の農業の両立」を叶えたり、「週末百姓」のような柔軟な関わり方を増やしたりすることで、この町を守り続けていけたらと考えています。

取材：穴井秀房、森永一美



お客さんは新米と協賛企業さんからのおかずなども食べ放題！小国杉のお盆や茶碗、お米2合のお土産もつく

編集後記

編集後記をまとめていると、JA阿蘇の方より、今年度の米の仮払い金額の連絡が入りました、昨年2025年産は異常に高値で推移したため参考にはならないと思うものの、2023、2024年産よりも低い価格で業界団体が試算した生産コストの20536円を大幅に下回る金額に唖然としました。

また今年に入り、イラン情勢をめぐる原油高に起因し、生産資材や肥料、人件費等はさらに高騰が続いています。中山間地域の水稲栽培は大変厳しいものとなりました、これでは水稲栽培に魅力はなくなり、耕作放棄地が増える状況が目前にあります。

さらに地球温暖化に端を発すると思われる異常気象に振り回され、安定した食料生産そのものが難しくなる一年となりました。

今回取材をさせていただいた髙村秀明さんも話されていましたが、南小国町の美しい田園がいつまでも続き、「食料安全保障」の言葉がずっしりとのしかかる時代がこないことを祈るばかりです。

この議会広報が皆様に届く頃には、秋も深まりきれいな紅葉に癒やされたいものです。

（穴井秀房）

発行責任者
議　長　井上　則臣
広報調査対策特別委員会
委員長　森永　一美
副委員長　井野　和哉
委　員　穴井　秀房
委　員　北里　桂一

編集：議会広報調査対策特別委員会
発行：南小国町議会

〒869-2492 熊本県阿蘇郡南小国町大字赤馬場143番地
☎ 0967(42)1125　FAX 0967(42)1122